

令和7年度 事業所における自己評価総括表（ドットジュニア おゆみ野教室（放課後等デイサービス・児童発達支援））

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点（事業所の強み）や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの資質向上や改善をしていくことを目的としています。

<保護者アンケート調査時期：R7/11/17~R7/12/5> <職員アンケート調査及び検討時期：R7/11/17~R7/11/25>

強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性や家族の希望を踏まえて計画書を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング面談は基本対面での実施をお願いしております。実際に来室いただくことで教室や職員の雰囲気がよく分かり、保護者の方に安心してお預けいただけるような対応を心がけております。 なるべく来室していただくために、モニタリング月の前月中にはお手紙を配布し早めの予定確定も工夫している部分です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談前に職員間で児童に関する情報共有の機会を設け、より丁寧なモニタリングが行えるようにします。
<ul style="list-style-type: none"> ・児童が楽しく通える教室であること。 ・児童特性を把握した支援を行えていること。 ・目的意識の高いプログラム作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のプログラム作成の際には、何を目的に活動を展開しているかを明確にしています。例えば製作だと道具の操作性の向上、集団での指示理解、課題に対して自身で想像していく力等。似たプログラムであったとしても、その日のその日で児童の目指す場所や職員の視点も変えるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに質の高い支援を提供するため、職員が個別支援計画書をしっかりと読み込み、児童の課題と保護者のニーズを理解することを注力します。児童の課題に対して、細かな目標を設定し、目標達成を意識した支援を目指します。
<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時に前日の振り返りを行い、その場で不安な点や改善案を共有するというサイクルが確実に行えている クルーのそれぞれ得意不得意はありながらも「子供たちのために」どういう目的をもって活動を組み立てるのかという部分は同じ方向を見て進んでいる教室である 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時に行う振り返りの中で、ヒヤリハットやトラブルをインシデント報告書として記録、当日休みの職員にも共有するようにしています。再発防止のための施策を検討し、様々な目線での意見出しを行い、安心して通うことのできる教室づくりを進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの際には、改善策を実行した結果をどう捉えると良いのか、より改善可能なポイントはなかったのかについて話し合う回数は不足しています。事故なく子どもたちが日々過ごせるように、危険と感じたものの対処方法を常々話し合い環境を作り、よりよい支援に繋がっていきます。

弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	拠点として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
<ul style="list-style-type: none"> ・災害、緊急時の取り組みについて。保護者が安心できるような説明、訓練等が行われていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に必要な物品の準備、管理が適切に行えていません。 ・緊急時の対応や職員の動きについて自信を持てるような訓練が行えていません。 ・避難訓練等の実施記録をきちんと保護者に伝える動きが出来ていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の訓練記録を詳細に「サービス提供記録」に記載し、緊急時への取り組みが保護者様に伝わるよう工夫していきます。 ・訓練時に、児童だけでなく職員の動きについても一緒に確認をし、様々な場面（災害、不審者、事故）への対応を学んでいきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の異動や退職により保護者児童ともに不信感を与えてしまっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の入退職、異動の際に保護者への説明の機会を持っていませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の入替わりが発生した際には、月次で配布しているお便りに紹介文を記載します。常にどのような職員が働いているのか、保護者様が理解できるように配慮いたします。 ・職員着任の際には送迎や面談時等に直接ご挨拶をさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性やレベルに合わせた支援の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童のうち小学校低学年が大半であることから、低学年向けのプログラムを実施することが多いです。そのために、小学校高学年以上の児童への配慮がプログラムとして欠けていることがありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年、中学生以上向けに特化したプログラムが開催できるよう検討いたします。